

「そうずらか、そうずらよ」－三宅島と静岡の親子交流会を終えて。

人は仲間達と群れ集う中で、お互いに触れ合い、関わり合い、時にはぶつかり合いながら、お互いを確認し、認め合い、支え合いながら、成長する。今回の交流合宿に参加して頂いた方々のちょっとした"心"の一場面を、私なりに綴ってみました。

夏にしては気持ちのいい涼しい朝。マイクロバスに乗って下田に向かった。殆どが初めて出会う人達で、僕らは、私達はやっぱり友達とばかり話をしてきた。でも、朝一緒に乗ってきたお隣の人は、一体どんな人なんだろう。思い切って話し掛けてみた。返事してくれた。なんだ、結構話しやすい人じゃん。そこはみんな同じ気持ちだったんだ。

いつもは海底 10mまで見通せる下田・大浦海岸も、台風の接近で少し濁っている。ライフジャケットをしっかりと身に着けて、それこそ生まれて初めてシーカヤックに乗ってみた。意外に簡単に漕ぎ出たが、なかなか真っ直ぐに進まないし、行きたい方向にも進まない。でも、カヤックに乗って海岸を見ると、自分が大自然の中に溶け込んでいる。素晴らしかった。

初めてのカヤックだったのに、いきなりカヤックリレー。前の人からタッチされ、さあ僕の番だ。チームのために必死で漕ぎ出した。あれ？真っ直ぐに進んでいる。100m位先のブイを回る。でも、やっぱりターンは難しい。や！友達がもたついている。今がチャンスだ。ヤッター、遂に友達を追い越した。

カヤックに乗ったまま、みんなでお隣のカヤックを持ち合って輪を作り、1人ずつのその上を海に落ちないで歩く、「いなばの白うさぎ」ゲーム。私は自分もびっくりするほど、見事1周ぐるりと回れた。みんなが拍手してくれた。とっても嬉しかった。

初めて泊まる下田・あずさ山の家。入り口の水車の池から、アヒルとマガモが数羽、お出迎え。たかさん（スタッフの方）から部屋割りが発表された。誰が決めたんだろう。全く知らない人とおんなじ部屋で、私はちょっぴり困ってしまった。でも、考えてみると、それはみんなも一緒なんだ。

みんなで交代にお風呂に入って、夕食作り。金目鯛のお刺身に、金目鯛のお頭入りのみそ汁とサラダ。先にお風呂に入らせてもらい、すっきりして台所に来たら、スタッフの人達やお母さん達はもう夕食を作り始めていた。「手伝わなければ、食べれないぞー！」ってあのおじさんが言ったけど、じゃあ一体何を手伝ったらいいんだろう？ま、おじさんに聞いてみよう。

今日は色んなことをしたんで、おなかがすいちゃった。さてと、えーと、おしょうゆは、あっ！みそ汁がこぼれちゃった。「あーあ！みそ汁、こぼしたー！」ってみんなに言われ、気まづくなっちゃって走って部屋に戻り、テーブルの下に隠れた。悔しくて涙が出ちゃった。そうしたら、友達が夕食を部屋まで運んで来てくれた。嬉しかった。

そうそう、スタッフのお兄さん達が打ってくれた藤枝茶入りの手打ちそば。ちょっと短く切れてしまっていたけれど、おいしかったですね。

夕食後の海草押し葉。下田海中水族館の土屋先生に教えてもらった。海草に糊の成分があるって、全然知らなかった。でも、考えてみたら、海草ってヌルヌルしてるんだよね。あれが糊の成分なのかな。きれいに作ったつもりなんですけど、出来上がりが楽しみ。でも、ちょっぴり不安です。

僕達 5 人は静岡カヌークラブの会長さんの指導で、約 2 時間もかけて天竜杉製のカヌーを作った。まず型板を当てて杉板に墨を付け、のこぎりで引く。曲線を引くのは、本当に難しい。のこぎりに縦引きと横引きがあることを初めて知った。杉板があんなにしなることも初めて知った。だから、昔から船は杉を使って作ったらしい。そのしなりのため、ネジも短い間隔で打っていく。それも、ボンドをしっかりと塗っては、ドリルで穴を空け、ネジを打ちこんでいく。最後に、隙間をしっかりとコーキング。翌朝、山の家の水車池で水漏れをチェックして、完成。三宅・静岡号と命名し、マジックで自分達の寄せ書きも書いて、進水式。僕達、みんなで作ったカヌーが、見事に浮かんだ。よかった。三宅の大純君、一緒に作ったこの三宅・静岡号、いい思い出になったね。

(三宅島の活火山) 雄山が濛々と白い噴煙をあげ始めた (2000.6.26)。いつ避難命令が出されるが分からない。食事もゆっくり取ってられず、早く済ませることばかり考える。家族みんなでくつろぐどころか、いつも家族の安全を考えていた。そんな生活から、(9.1の全島避難命令により下田に脱出避難して) ビデオショップやゲームセンターと娯楽に囲まれ、身の回りの物もお金さえあれば何不自由なく手に入る生活への変化と、そこでの子育てに悩む三宅の方々のお話 (今回は、そんな三宅島の人達との交流合宿だった)。東海地震が叫ばれながらも、平穏な生活にどっぷり漬かり、省みることのない自分達自身の生活を改めて見直す機会になった。

友達とだけの初めての夜。僕達は、中学生のお兄さん達と枕投げをやった。楽しかった。私達は、怖い話や参加してきた大学生のお兄さんやお姉さん達のこと、友達のこと、色々なことを、夜 12 時頃までしゃべっちゃった。こんなこと初めてで、ホント楽しかった。

たった 2 日間なのに、もう何日もみんなと一緒に過ごしたように仲良くなった。別れがちょっぴりさびしかった。みんな、来年も必ず会おうね。・・・今度は私もカヌーをやりたいな。・・・もう一回、きれいな海でカヌーをやりたいな。・・・素晴らしい思い出をありがとう。

追伸。この交流合宿の実施したことで、三宅村村長様から当フォーラムに感謝状を頂きました。こちらこそありがとうございました。

2001.9..1